

受賞者のご挨拶

株式会社 青山精工

代表取締役 青山 亜起菜 様



この度は栄誉ある「中小企業振興表彰」を賜り、心より御礼申し上げます。これまで弊社にご支援・ご尽力いただいたお取引先様、金融機関様、地域の皆様そして現従業員、元従業員等多くの方々の存在のお陰であると、大変喜ばしく、感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を更なるステップアップのスタートと捉え、今後も技術向上、福利厚生や環境の充実、更には地域活性化の促進に努めて、会社の質の向上を図れるように努力して参りたいと存じます。

弊社は1969年6月、鉾山が大変盛んであった鹿角市内で私の祖父がボーリング部品の加工のため創業いたしました。汎用旋盤加工機1台から始まり、その後ポンプ、自動調整バルブ、治工具、電子部品と進化を遂げ、それに伴い工作機械も増設して参りました。しかし、それまでの道のりは決して平坦なものではなく、利益の薄い仕事が多くても睡眠時間を削っての対応、また重量のある製品も多く持ち運ぶだけでも大変で、いつも身体の限界まで作業するなど、当時はそれを当たり前にとただただ日々必死だったと聞いております。

1990年には父の元、法人化を果たし、今年設立36周年を迎えました。従業員が増えていく中で、父は「経営とは何が正しいか」「どのように会社を良くすればいいのか」について、葛藤の繰り返しであったようです。その後幸いにも京セラ創業者である稲盛和夫氏の経営哲学と出会い、「人を大事にし、従業員の幸せを求めた事業でなければいけないこと」「正義、公平、



公正、誠実、正直を判断基準にすること」「まずは経営者自身が心を高め、利他・思いやりの気持ちを持って尊敬される人でなければいけないこと」など、素晴らしい会社経営をするための教えを学びながら事業を現在の形まで大きくして参りました。

今では工作機械も50台以上にのぼり、金属・非鉄金属だけでなく、セラミックスやガラス、サファイヤなど脆性材と呼ばれる特殊な材質も加工できるようになりました。その果敢な挑戦のお陰で現在半導体、自動車、食品、医療など、多様なお客様のお手伝いをさせて頂けるようになりました。

さて私が父の後継者として入社したのは2011年でした。それまで自分がこの会社を背負っていくとは微塵も考えたことはありませんでしたが、ある日突然父から会社の後継者不在の悩みと存在意義を耳にすることになりました。

一、従業員を守る～単純に従業員の人数だけでなく、その家族も養っていると考えなく

てはいけない。

二、お客様を守る～私たちの仕事はお客様の商品開発や事業発展に繋がっており、それを絶やしてはいけない。

三、地域を守る～会社は地域のお陰で仕事できていて、またこの地域に存在することで地域の活性化に貢献している。

小さな会社ではありますが、事業を継続することは地域の繁栄や日本、更には世界の発展に大きく寄与することであり、想像していた以上に壮大な意義があることに大変感銘を受けたことを憶えております。

ただ立派な存在意義は理解できても、それまで一度も会社を継ぐことを考えていなかった私にとっては、すんなりと答えが出るものではありませんでした。ですが、私を育ててくれた両親に対して恩返しをしたい気持ちと、加えて幼少期に頻繁に会社を出入りしていた私は兄妹の中でも当社に対する思い入れが一番強かったのかもしれない。会社を継ぐことを決意いたしました。

入社してからは父の経営する様子を近くで見ながらも、社内の課題解決やルール作り等、社内の体制改良・環境改善に努めて参りました。そして入社から10年後の2021年に無事父より事業を承継いたしました。ただし代表が若返れば事業が安泰というものではなく、安心して居る時間はありませんでした。会社を本当に支えているのは社内の技術であり、更にはその技術をもつ従業員の高齢化が進んでいる状況に危機感を感じたのです。事業拡大も可能だったかもしれませんが、技術やノウハウが目に見えない状態で属人化し不安定な組織体制を解決していくことが優先的だと判断したのです。

まずは機械操作、業務、リピート品のマニュアル作成、また個々の技術や能力を可視化した

スキルマップの作成など後進育成を優先し、土台をしっかりと作り上げることに力を注ぐことにいたしました。スキルマップでは一つの業務でも4段階に分け、誰がどこまで出来ているかを細かく把握できるようになり、教育更には人事評価にも有効的なツールとなりました。また外部研修の増加、社内勉強会の開催など従業員のスキルアップの機会を多く設け、社内勉強会においては従業員自らが講師となり、同僚や後輩に教えていくことで、切磋琢磨しながら知識・技術の向上に繋がっております。個々の力を十分に発揮し、チームとしてのパフォーマンスを上げ、将来最強の組織へと移行していくために、毎年組織改編を図るなど、変革・改革を恐れずに取り組んでいる次第です。

仕事だけでなく一年を通して、設立記念祝賀会、BBQ、忘年会、社員旅行などイベントも豊富で、遊ぶことも一生懸命にし、コミュニケーションの活性化に繋げているのも弊社の特徴です。お互いを理解することが良い仕事には必要だと感じております。

私が代表就任した2021年はコロナ禍で、その後も米中貿易摩擦、アメリカの関税、中東戦争、次から次へと試練が待ち構え、売上は伸び悩んでいるのが現状です。そんな中でも「顧客第一」「従業員の幸せの実現」「世のため、人のため」ということを常に考えながら、そして父と同じ経営哲学を学びながら事業に取り組んでおります。どんな時も従業員とともに明るい未来を切り開けるよう、心を高め、技術を高め、日々チャレンジを続けながら歩んでいければと思っております。

まだまだ未熟な弊社ですが、今後ともご支援ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。